

臨時会

7月11日

現在の病院経営について、病床数の利用率や外来患者の減少または診療報酬改定に伴う収益の減少に伴い一般会計からの負担金補助を受けてもなお、赤字が続いている状況にある。国保病院が住民の健康と生活を守る唯一の医療機関として、より安定した医療サービス

目的と内容の説明

▽医療・高齢者福祉に係るコンサルティング業務
390万円増。

収益的収支

▽医療・高齢者福祉に係るコンサルティング業務
390万円増。

国民健康保険病院 事業会計

医療・高齢者福祉にコンサルティング委託

平成26年第4回臨時会を7月11日開会し、一般会計補正予算及び病院事業会計補正予算を可決し、同日閉会しました。

質疑

△大原議員▽

先日の高齢者のアンケートを見たが、質問事項が限られている。

老人クラブや町内会等の会合等に出向いて直接生の声を拾つてはどうか。

△近藤副町長▽
両方検討したい。

△三富病院事務長▽

△大原議員▽
医療・介護施設関係は直接職員の生の声を聞くことを考えている。

又、高齢者についても各所に出向き同様としていた。

△松ヶ瀬議員▽
アンケートや聞き取り調査は非常に日数を要すると思う。どの位の期間を持つて進めていくのか。

△岩崎議員▽
現在、医者を地方に招聘するのに4千万、5千万掛かると聞いた。

△大原議員▽
模水準は一定程度確保していただきたい。

△近藤副町長▽
現在、医者を地方に招聘するのに4千万、5千万掛かると聞いた。

△地域サポートセンター
ウェル駐車場整備
助金
78万円増。

一般会計

△部活動大会派遣費補助金
0万円を追加し、総額を4億1333万円としました。

歳出

△三富病院事務長▽
最終目標として12月中を目標に仕上げたい。

△近藤副町長▽

△大原議員▽
人口減等で病院の経営ことは一番最初に必要なこと。それについ

て色々な取り組みをしている。5千万ではないがお金については今もそれなりに出している。お金だけでないいろんな要素もあるので体制づくりをしていきたい。

△大原議員▽
病院は医者を確保することは一番最初に必要なこと。それについ